

2014年10月10日
SB エナジー株式会社
三井物産株式会社
鳥取米子ソーラーパーク株式会社
株式会社大協組

「ソフトバンク鳥取米子ソーラーパーク」での ヤギによる除草試験実施について

ソフトバンクグループで自然エネルギー事業などを行う SB エナジー株式会社（本社：東京都港区、代表取締役社長：孫 正義、以下「SB エナジー（エスビー エナジー）」）と三井物産株式会社（本社：東京都千代田区、代表取締役社長：飯島 彰己、以下「三井物産」）が設立した特別目的会社「鳥取米子ソーラーパーク株式会社」と鳥取県米子市で建設業などを行う株式会社大協組（本社：鳥取県米子市、代表取締役：小山 典久、以下「大協組」）は、環境に配慮した活動の一環として「ソフトバンク鳥取米子ソーラーパーク」において、ヤギによる除草試験を2014年10月17日から開始します。

今回のヤギによる除草試験は、「ソフトバンク鳥取米子ソーラーパーク」併設の「とっとり自然環境館」および駐車場周辺の約900㎡を対象に、ヤギ2頭を配置して実施します。ヤギによる除草は、エンジン式草刈り機や除草剤を用いた除草に比べ、騒音や二酸化炭素の排出、土壌汚染といった面での環境負荷低減が見込まれる除草方法として有効であるほか、地域住民への癒し効果や環境への理解促進効果なども期待されます。

今回、10月17日から11月30日まで試験を実施し、現場植生への除草効果、安全面での機械除草との比較、除草品質、セラピー効果などを検証します。

SB エナジー、三井物産、鳥取米子ソーラーパークおよび大協組は、今後も環境保全活動を推進します。

<イメージ画像>



● SoftBankおよびソフトバンクの名称、ロゴは、日本国およびその他の国におけるソフトバンク株式会社の登録商標または商標です。